

引札について

ひきふだ みせ きげん てんな
引札とは、「お店の紹介のチラシ」のことです。起源は天和3年
(1683)江戸の呉服店が安売りのチラシを発行したこととされて
います。今回の展示で紹介する引札は、「正月引札」と呼ばれ、主
に明治から大正期に得意先に配られたもので、美しい図案と共に
店の名前や取り扱う
商品が刷られています。
商売をしている人が
引札を作るときは、印刷屋
が持っている見本帳から
好きな図案を選んで注文
します。印刷機がない
時代は版画の技術で刷ら
れました。正月に配ること
から、図案は七福神や
松竹梅など縁起の良いも
のが主流でした。



近廣堂の引札（明治20年（1887））

近廣堂は金沢で引札などの印刷を行っていました。
図案は恵比寿が龍を釣る縁起のよいものです。